

2014年3月14日掲載

「パラダイムシフト」

北海道に住んで文化の違いに驚いたことがたくさんある。結婚式が会費制ということや大みそかにおせち料理を食べることなど、固定概念が崩され、新たな発見をすることが多い。

札幌に戻って約1年。振り返ると、パラダイム（無意識のうちに創ってしまう価値観の枠組み）が大きくシフトしたように感じる。出産から半年で仕事を再開でき、先日は書籍の出版や会社の設立など、今までにない大きな結果や変化が手に入ってきた。

そのきっかけとなったのは、1歳になった子どもの存在である。誰に教えられた訳でもないのに、寝返りやハイハイ、歩くことなど、失敗しても何度も何度も成功するまでできる方法を探してやり続ける。赤ちゃんにとって、すべてが未知の世界。私の師からは「赤ちゃんにはできるも、できないもないのかもしれないね」と言われ、確かにそうだと思った。

私はいつからできるかもしれないことを、経験から「できない」としていたのか・・・そこに気づかされてから、「できるできない」ではなく、「やるかやらないか」で物事を選択してきた。

最近、道内の小学校や中学校で、「働くこと」について話をする機会があった。「人の役に立つ」仕事がしたいのであれば、医師、看護師、公務員、デザイナー、介護士など、何か芯になるやりたいことからいろいろな可能性が見えてくる。生徒達のパラダイムシフトをつくれるよう、私も日々、いろいろな観点で物事を見ていこうと思う。

千葉県出身。35歳。ハッピーアロー代表取締役。元TVhアナウンサー。キャリア教育、面接指導、企業研修などを行う。

(毎日新聞より)